

町民の皆様、明けましておめでとございます。

町民の皆様には、日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、昨年も着実に発展への基礎を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

しかし、本町をとりまく諸情勢は長期化する経済不況により、町民生活は多大の影響を受け、

行政需要はその量、質ともますます複雑多様化するなど、まさに厳しいものがあります。私どもも議決機関といたしましては、町民生活の安定向上を図るため、今後さらに創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変らぬご支援、ご協力を賜りまして、心からお願い申し上げます。

行政需要はその量、質ともますます複雑多様化するなど、まさに厳しいものがあります。私どもも議決機関といたしましては、町民生活の安定向上を図るため、今後さらに創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変らぬご支援、ご協力を賜りまして、心からお願い申し上げます。

## 町民生活の 安定向上を図るため さらに 創意工夫を

小須戸町会議長  
新井田辰男



氏名	住所	電話	担当区域
小柳 ミイ	新栄町 1	38-2857	大川前 1. 2. 本町 1. 1. 2. 若葉町 1. 2. 3. 文京町 2
長谷川 淑	大川前 2	38-3336	大川前 3. 本町 2. 3. 2. 中央町 1. 2. 3. 4. 5.
菴森 キイ	本町 5	38-3074	本町 4. 5. 花園町 1. 2. 大川前 4. 5. 6.
吉田 吉平	新町 2	38-3433	新町 1. 2. 3. 4. 雁巻町 1. 2. 文京町 1
高橋千代子	蔵町 1	38-3440	新栄町 1. 2. 3. 4. 5. 蔵町 1. 2. 3. 4. 5.
成田 ノリ	うでこき 2	38-3377	うでこき 1. 2. 3.
白井ミサヲ	横川 浜	38-2606	横川浜全域
白井 重榮	小 向	38-2188	小向全域
木村敬三郎	水 田	38-3129	水田全域
板谷 半治	鎌倉 新田	38-4480	鎌倉新田全域
斉藤 一策	天ヶ沢 第1	38-2075	天ヶ沢 1. 2. 3.
長谷川信榮	矢代田 第1	38-2785	矢代田 1. 2. 3. 松が丘
保科 正子	矢代田 第6	38-3080	矢代田 4. 5. 6. 7.
本多 英雄	矢代田 第9	38-3997	矢代田 8. 9. 10. 11. 12. 13.
間野エリ子	新保 第3	38-3446	新保 1. 2. 3.
川瀬増次郎	竜 玄 新田	38-2495	竜玄新田全域



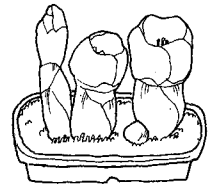
委嘱状授与の様子

### 民生、児童委員の紹介

このたび、民生、児童委員の一斉改選により、十二月一日から引き続き次の方が民生委員として厚生大臣より任命されま

民生委員は、その職務を遂行するに当たっては、個人の人権を尊重し、その身上に関する秘密

を守ります。相談事がございましたら地域の民生委員にお話しください。



### 三、生活環境整備、福祉事業の推進

対話、話し合いを通じ、財政の可能な限り町民皆様の要望を取り入れ、町民総参加の豊かな住みよい活力ある町づくりを推進します。

#### 四、水田農業確立対策の推進

懸案のポスト三期の「水田農業確立対策」が決まりました。国では転作目標面積は七七〇ヘクタール(前年度比七〇%)、四三、二%増)の配分を受けました。これを各生産者農家への配分は町と生産者団体が共同責任で協議、調整して決定し、生産者農家の理解と協力を得て目標達成を推進します。

### 五、事務事業の見直し

社会経済情勢の変化に対応しながら、常に事務事業を見直し、行政効率の向上を図ります。

以上、年頭にあたり、所信の一端を申し述べ、併せて皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のごあいさついたします。



## 明るく活力ある 町づくりを目ざし 総合計画策定に 全力を

小須戸町長  
轡田奈賀雄

新年おめでとございます。謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昭和六十二年の新春を迎え、まず一人ひとりが健康で良い年になることを心から祈念するものであります。

過ぎた昭和六十一年を振り返ってみますと、円高不況、石油価格や金利の低下、高齢化の進展等、社会経済情勢の著しい変化のあった年でありました。

新しい年を迎えれば、新年度の計画を立てることになります。昭和六十二年度は第二次小須戸町総合計画(昭和五十七年度、昭和六十六年度)後期の初年度に当たります。昭和六十二年分から昭和六十六年度までの五年間を後期基本計画として、

時代の進展、生活環境の変化、行政に対する町民の要求、広域的情勢等を見極めつつ、継続的な事業、新たに検討を加えるもの(住宅団地、企業団地)等、体系的、具体的に策定し、明るく健康で心豊かな住みよい活力ある町づくりを推進いたします。

昭和六十二年の本町の財政については、経済見通しをはじめ、国・県の予算編成の動向、地方財政計画の内容等が明らかでないため、現時点において的確に予測することは困難であります。

しかし歳入面では円高による景気の停滞を反映して町税、及び地方交付税の大幅な伸びは期待できず、また、国庫補助率の引下げの継続、更には税制の抜本的改革による地方財政への波及が懸念され、本町にとっても更に厳しい局面も出てきています。

一方歳出面においては、人件費、公債費等義務的経費は着実に増加し、財政事情は極めて厳しいものが予想されます。

このような状況下において従来から進めてきた行政改革を着実に推進し、健全財政の確保に努めることを基本として歳入の確保に取り組み、事務事業の全般の見直しに加え、更に既存の制度、施策の徹底した見直し、及び優先順位の高い選択による歳出の抑制を図ります。

新春早々には、昭和六十二年の事業計画に取りかかりますが、その主なものは次のとおりであります。

- 一、新規事業
  - 小須戸小学校プール建設
  - 矢代田小学校グラウンド整備
  - 山の手総合スポーツ施設の設置
  - 都市計画街路事業(北浦線)
  - 県営農免農道整備事業
  - 旧小須戸保育園跡地利用施設
  - 議会の提言、諸般の情勢を考慮し、ニーズに対応する
- 小須戸小学校跡地利用計画策定
- 二、公共事業の継続
  - 街路事業、下水道事業、農村総合整備モデル事業、団体営かんがい排水事業、県営農道整備事業、国道四〇三号線融雪施設整備事業、信濃川下流改修小須戸地区築堤事業

